
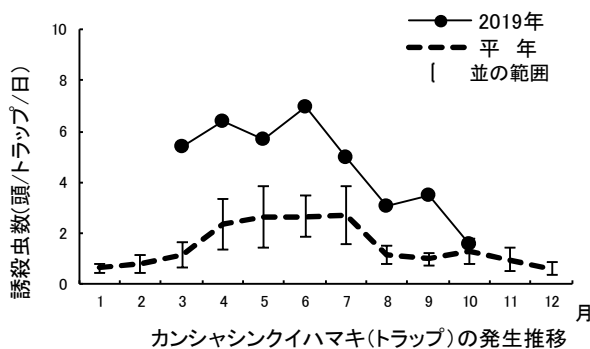
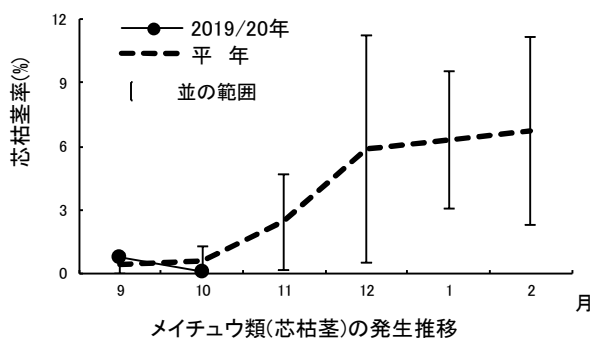


|       |                       |                    |                                                                                     |
|-------|-----------------------|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 作物    | さとうきび                 | 地域                 | 沖縄本島                                                                                |
| 病害虫名  | ① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ) |                    |  |
| 予報    | 11 月の発生量 (平年比)        | 並                  |                                                                                     |
|       | 10 月からの増減傾向           | ↗                  |                                                                                     |
| 予報の根拠 | 10 月の発生量 (平年比)        | 並                  |                                                                                     |
|       | その他<br>(気象要因など)       | 芯枯茎率の平年の発生量の推移 (↗) |                                                                                     |


調査結果



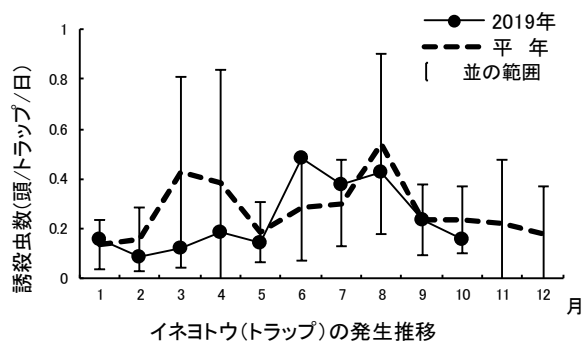
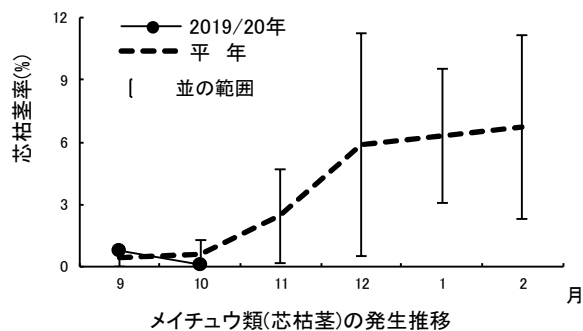
- ・茎内でメイチュウ類は発見できなかった。
- ・病害虫防除員報告：多発生（久米島）

防除のポイント

- ・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

|       |                 |                    |                                                                                     |
|-------|-----------------|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 作物    | さとうきび           | 地域                 | 沖縄本島                                                                                |
| 病害虫名  | ② メイチュウ類(イネヨトウ) |                    |  |
| 予報    | 11 月の発生量 (平年比)  | 並                  |                                                                                     |
|       | 10 月からの増減傾向     | ↗                  |                                                                                     |
| 予報の根拠 | 10 月の発生量 (平年比)  | 並                  |                                                                                     |
|       | その他<br>(気象要因など) | 芯枯茎率の平年の発生量の推移 (↗) |                                                                                     |

調査結果



- ・茎内でメイチュウ類は発見できなかった。
- ・病害虫防除員報告：多発生（久米島）

防除のポイント

- ・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。